

## 第39回

# 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会

## 全国(東京)大会及び研修会

### 大会テーマ

地域社会とともに歩むアーカイブズ

— 公文書管理法時代の資料保存 —

**期 日** 平成25年11月14日(木)・15日(金)

**会 場** 学習院創立百周年記念会館  
東京都公文書館 板橋区公文書館

**主 催** 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会  
**共 催** 学習院大学  
**後 援** 独立行政法人国立公文書館  
東京都  
東京市町村自治調査会  
**協 賛** 情報保存研究会

# 開催要項

- 1 期 日 平成 25 年 11 月 14 日(木)・15 日(金)
- 2 主 催 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会
- 3 共 催 学習院大学
- 4 後 援 独立行政法人国立公文書館, 東京都, 東京市町村自治調査会
- 5 協 賛 情報保存研究会
- 6 会 場 学習院創立百周年記念会館  
〒171-8588 東京都豊島区目白 1-5-1 TEL: 03-3986-0221  
東京都公文書館  
〒158-0094 東京都世田谷区玉川 1-20-1 TEL: 03-3707-2601  
板橋区公文書館  
〒173-0001 東京都板橋区本町 24-1 TEL: 03-3579-2291
- 7 内 容 (1) 総会  
(2) 大会テーマ研究会, 自由論題研究会  
(3) 研修会(東京都公文書館, 板橋区公文書館視察を含む)  
(4) 機関会員・協賛企業展示, ポスターセッション  
(5) 交流会
- 8 申込方法 「参加申込方法」(p.8)をご覧ください, 全史料協ウェブサイトのオンライン申込みフォームを利用してお申し込み下さい。オンライン申込みが難しい場合は, 別紙「申込書」を大会・研修委員会事務局まで郵送又は FAX にてお申し込みください。
- 9 その他 (1) 会員相互の親睦を図るため, 参加者名簿(氏名・所属[機関名又は都道府県名])を作成します。申込時に名簿掲載の可・否をご記入ください。記入がない場合は掲載しないこととしますが, 名簿作成にあたっては個人情報の保護に十分配慮し, その用途を本大会に限定しますので, 趣旨をご理解の上, 掲載にご協力ください。  
(2) 手話通訳等の介護措置を希望される方は, 申込時に通信欄にその旨をご記入ください。

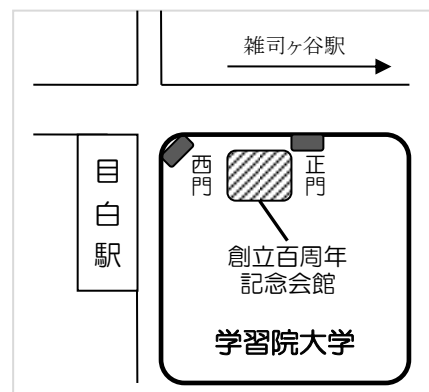
## 会 場

### ○学習院創立百周年記念会館

JR 山手線 目白駅 徒歩 3 分  
東京メトロ副都心線 雑司ヶ谷駅 徒歩 5 分

### ○研修会視察地 (地図・アクセス方法は p.4 に掲載)

- A 東京都公文書館
- B 板橋区公文書館



# 大 会 日 程

11月14日(木)		11月15日(金)					
9:00	集 合 9:00~9:30	9:00	受 付 (1F ホワイエ) 9:00~9:30				
9:30	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [研修 A] 視 察 東京都公文書館 * 9:30~11:00                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [研修 B] 視 察 板橋区公文書館 * 9:30~11:00                 </td> </tr> </table>	[研修 A] 視 察 東京都公文書館 * 9:30~11:00	[研修 B] 視 察 板橋区公文書館 * 9:30~11:00	9:30	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [自由論題研究会 A] * 9:30~10:40                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [自由論題研究会 B] * 9:30~10:40                 </td> </tr> </table>	[自由論題研究会 A] * 9:30~10:40	[自由論題研究会 B] * 9:30~10:40
[研修 A] 視 察 東京都公文書館 * 9:30~11:00	[研修 B] 視 察 板橋区公文書館 * 9:30~11:00						
[自由論題研究会 A] * 9:30~10:40	[自由論題研究会 B] * 9:30~10:40						
11:00	移動・昼食・休憩  受付 (1F ホワイエ) 11:00~ 展示・ポスターセッション (3F 小講堂) 11:30~13:00		10:40 10:50	休 憩			
13:00	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [研修 C] * 13:00~14:00                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [研修 D] * 13:00~14:00                 </td> </tr> </table>	[研修 C] * 13:00~14:00	[研修 D] * 13:00~14:00	12:00	[自由論題研究会 C] (正堂) 10:50~12:00  昼食・休憩・展示・ポスターセッション 12:00~13:30		
[研修 C] * 13:00~14:00	[研修 D] * 13:00~14:00						
14:00	休 憩		13:30	[大会テーマ研究会] (正堂)  趣旨説明 13:30~13:40  報告① 13:40~14:45  報告② 14:50~15:55  質疑討論 15:55~16:20			
14:10	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [研修 E] * 14:10~15:10                 </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                     [研修 F] * 14:10~15:10                 </td> </tr> </table>	[研修 E] * 14:10~15:10	[研修 F] * 14:10~15:10	16:20	閉会行事 16:20~16:30		
[研修 E] * 14:10~15:10	[研修 F] * 14:10~15:10						
15:10	休 憩						
15:20	総 会 (正堂) 15:20~17:10						
17:10	移 動						
18:00	交流会 18:00~20:00 (東武バンケットホール) 交流会会場の詳細は、p.5 をご覧ください						

- \* 視察会場では、大会受付は行いません。視察後に、学習院創立百周年記念会館にて行ってください。
- \* 研修 C~F および自由論題研究会 A・B の会場は、当日お知らせします。



## ■研修会（C・D 13:00～14:00 / E・F 14:10～15:10）

### C 「アーカイブズと歴史資料」

中野目 徹 氏（筑波大学大学院人文社会科学研究科教授）

この講義では、まず、アーカイブズ(資料, 施設)とは何か, 我が国における歴史的経緯も含めて検討し, 公文書管理法施行を契機にどのような問題が発生する可能性があるのかを具体例に即して考察していく。ついで, 資料としてのアーカイブズについて, 「歴史資料として重要な公文書等」とは何か, また, 歴史資料としての私文書との関係はどう考えるべきか, 私自身の経験と研究をふまえて論じていく。このことを通して, 大会テーマでもある地域社会に必要とされる施設としてのアーカイブズ像を提示していくことを目的とする。

### D 「公文書の保存とその課題」

佐藤 勝巳 氏（戸田市アーカイブズ・センター専門員）

国において『公文書管理法(「公文書等の管理に関する法律」)』が制定・施行され, 「政府全体が統一されたルールに基づいて, 公文書等の作成・管理を行う」(総務省)ことになり, 地方自治体にも適切な公文書管理への努力義務が課せられました。この法律では, 公文書等を現用・非現用を通して統一的に管理し, 非現用文書の管理にしても統一的なルールを求めています。

地方自治体における公文書管理については, とかく「現用文書の適切な管理」のみにとらわれがちですが, 非現用文書, 歴史的公文書の保存・管理・利用についてはどのように考えたらいいのか, 「公文書の適切な管理」という観点から考え, そこから見える課題についても考えていきます。

### E 「福島県国見町における資料の保全に向けた取り組み」

大栗 行貴 氏（国見町教育委員会生涯学習課主事）

福島県の中通り(内陸部)北端に位置する国見町は, 平成23年の東日本大震災で震度6強を観測し, 多くの建物が被害を受けました。関係機関の協力を得て文化財レスキューを実施するなかで, 約40年前の町史編纂事業以降に所在を把握していない多くの資料群の存在が浮き彫りとなりました。この問題を解決するため, 福島大学と共同で行っている, 資料の保全に向けた取り組みと課題について紹介します。

### F 「文書館専門職(アーキビスト)」

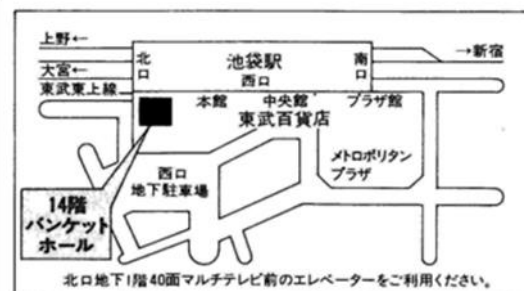
辻川 敦 氏（尼崎市立地域研究史料館長）

文書館の業務にあたるスタッフには, 文書館事業固有の専門性が要求される。その求められる専門性の内容・特性について, 文書館事業を管理統括する立場から実務に即して論ずるとともに, 日本においてははまだ制度化されていない文書館専門職(アーキビスト)の資格制度についても言及する。

## ■ 交流会 ■

交流会会場へは, 各自で移動してください。

会場： 東武バンケットホール  
東武百貨店池袋本店 14F  
食堂街「スパイス」内  
JR 山手線池袋駅西口（目白駅より1駅）  
時間： 18:00 - 20:00  
会費： 6000 円（大会受付時に同時徴収）



---

**11月15日(金)**

---

**■大会テーマ**

*地域社会とともに歩むアーカイブズ — 公文書管理法時代の資料保存 —*

**■自由論題研究会 (A・B 9:30~10:40 / C 10:50~12:00)**

**A 「小平市史編さんの経過と多摩地域の新しい市史編さんについて」**

蛭田 廣一 氏 (小平市企画政策部(市史編さん))

平成20年度に市史編さんに着手し、平成24年度に市史本編を刊行した小平市史編さんの経過と特色について報告し、どのような課題と特色を持って今市史編さんを行っているのか多摩地域の動向について述べる。

**B 「宮内省図書寮・宮内府図書寮・宮内庁書陵部における公文書管理の過去と現在」**

宮間 純一 氏

(宮内庁書陵部図書課宮内公文書館公文書調査室)

明治期以来、宮内省図書寮・宮内府図書寮・宮内庁書陵部は、宮内省・宮内府・宮内庁のアーカイブズとしての役割を担ってきた。現在は、書陵部図書課宮内公文書館が国立公文書館等に指定され、公文書に関する業務を掌っている。本報告では、図書寮・書陵部における公文書管理の歴史と所蔵文書の性格について紹介・概観した上で、宮内公文書館の位置づけや役割などについて検討したい。

**C 「歴史資料の保存と利用の基盤としてのデジタルアーカイブ」**

杉本 重雄 氏

(筑波大学図書館情報メディア系知的コミュニティ基盤研究センター)

現在、東日本大震災の記録を将来に残すためのデジタルアーカイブ構築の取組みが進められている。多様な資料を収集、組織化、蓄積、保存、提供するデジタルアーカイブの重要性は広く認められている。一方、郷土資料をはじめとして、デジタルアーカイブ化が十分には進んでいない現実もある。本講演では、研究や委員会活動における筆者の経験をもとに、デジタルアーカイブが果たすべき役割と将来への期待について論じる。

**■大会趣旨説明 (13:30~13:40)**

大会・研修委員会

過去2年間の大会は、平成23年(2011)に施行された公文書管理法を地方自治体がどう受け止め、どう公文書保存に生かすかを考えてきました。大会テーマ3年目の今回は、様々な資料保存の観点から公文書管理法の意義を考えます。皆さんの活発な議論を期待します。

## ■全体会（13:40～16:20）

### 報告①「新庁舎移転に向けた豊島区の文書管理への取り組み」

高橋 邦夫 氏（豊島区政策経営部情報管理課長）

（13:40～14:45）

豊島区では平成 27 年に移転を予定している新庁舎を、質の高い区民サービスの提供と区民生活の安全を守る拠点として位置付けています。これらの機能を実現するためには、情報の一元化が必須となります。紙の情報が山積みとなり、パソコンやファイルサーバー内に情報が溢れている職場環境から脱却するために、「情報システム基盤」と「総合文書管理システム」を導入し、文書管理の一元化を進めている現状をご説明いたします。

### 報告②「文書館における公文書管理と資料保存」

太田 富康 氏（埼玉県立文書館公文書担当部長）

（14:50～15:55）

埼玉県立文書館は、教育委員会が所管する教育機関であり、「郷土についての歴史的価値のある文書及び記録並びに県の公文書その他必要な資料」を対象とするトータル・アーカイブズです。このうち、「県の公文書」に対しては、1969 年の設立以来、知事等の委任を受けての重要文書管理も担ってきました。情報公開条例の施行（1983 年）、文書管理システムの導入（2003 年）など、その後も文書管理制度の進展にあわせ、その役割を展開させながら「公文書管理法時代」を迎えました。本報告では、その現状を紹介しながら、管理法時代の資料保存について考えてみたいと思います。

### 質疑討論

（15:55～16:20）

## ■閉会行事（16:20～16:30）

### ■ 機関会員出版物等展示・協賛企業展示・ポスター展示（3F 小講堂） ■

機関会員の刊行物やパンフレット、協賛企業の取扱品・図書・出版物等を展示します。また、機関会員の事業等の紹介や、個人会員の研究をまとめたポスターも掲示します。

ポスターセッションは、コアタイムを 14 日(木)11:30～13:00、15 日(金)12:00～13:30 に設定しました。この時間帯にはポスターの展示者が、発表形式で説明を行うとともに、自由な意見交換ができます。

情報収集や交流の場として、多くの皆様に会場に足を運んでいただきたいと思います。

# 参加申込方法

## 1 大会参加について

### (1) 参加区分と各参加費

参加区分	大会参加費	資料代	交流会参加費	
会員	無料	1,000円	6,000円	機関会員・個人会員とも
非会員	1,000円	1,000円	6,000円	

(2) 研修会(視察を含む)・自由論題研究会は、ご希望のコースをそれぞれお選びいただき、「申込書」の該当箇所に○を付けてください。

\* 研修会A(東京都公文書館視察)および、研修会B(板橋区公文書館視察)は、いずれも申込先着順40名までとします。ただし、視察可能人数が非常に限られることから、首都圏以外から参加の方を優先いたします。何卒ご了承下さい。

\* 研修会(視察を含む)・自由論題研究会については、会場の都合により、申込時の希望とは異なる会に参加していただく可能性があります。

研修会(視察を含む)・自由論題研究会の希望が容れられなかった方については、個別にご連絡します。

(3) 交流会への参加・不参加は、申込時に合わせて指定してください。

## 2 お申し込み先・お問い合わせ先について

### (1) お申し込み先・お問い合わせ先

全史料協ウェブサイトのオンライン申込みフォームを利用してお申し込み下さい。オンライン申込みが難しい場合は、別紙「申込書」を大会・研修委員会事務局まで郵送又はFAXにてお申し込みください。

全史料協ウェブサイト: <http://www.jsai.jp/>

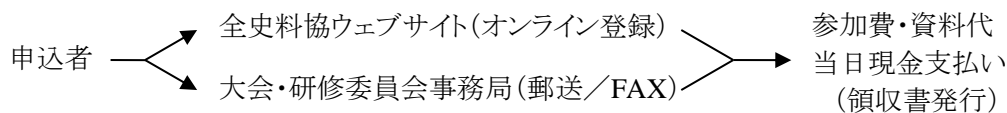
郵送/FAX送付先: 全史料協大会・研修委員会事務局

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-1-1

毎日学術フォーラム内(担当:鈴木めぐみ)

TEL: 03-6267-4550 / FAX: 03-6267-4555

### (2) お申し込み処理の流れ



## 3 申し込み締切 平成25年10月4日(金) 必着

## 4 その他

宿泊ホテルについての斡旋および昼食手配は行いません。参加者各自にて手配下さい。